

山情戦第一〇號

戦訓(山部隊)

昭和二〇、四、一四
山第百三三部隊



一 敵の弱さ

敵の唯一の頼る其戦車と空爆と艦砲より此の三者を除く敵の支那兵は
リニ弱シ。 和守慶、伊集、二五五高地附近に在り。敵が連續二夜三百
221ノ町にヨリ十四日朝、瀋陽附近に後退セシ敵、企圖遂次有極化シ来リ證
據ナリ。 尚此の間に於ケル敵の戦車要領に於テ何等見ルガキモノナシ。
茲に於テカ敵戦車ニ対スル戦斗法我既ニシテ確立シテ何等恐ルノ要ナリ
空爆、艦砲亦極マテ容易ナル「靖遠」ト遠敵、偽其に依リ解決シ、アリ
敵、遂次其の弱作ヲ暴露シ、アリ

二 夜間戦に盛ニ欺騙、陽動凡有手段ヲ用シテ敵ヲ我思フ儘ニ引キツル
ト必要ナリ。

敵の夜間ニ極メテ懐病ナリ。故ニ總テノ欺編陽動ニ使スルカ。敵カ我
 カ斬込隊ニ対シテは、追軍砲ノ集射ヲ浴セシモ、如キハ簡單ナリ。斯
 編陽動ニ自由ニ操ルニ得ルニ、偽砲隊、偽砲隊、偽砲隊、僅ク人員ヲ以テ
 陽動等路ヲ補流戰法ヲ活用セヨ。

三、準備ニシテ敵ニ対シテハ中ノ小隊ニ雖モ、夜間攻撃ハ考テ要ス。
 各方向ヨリノ往ニ任務ヲ有スル小隊、斬込班ヲ以テスル攻要要領研究ノ要ナリ。
 四、前後ト同ニ要領ヲ然モ敵ノ堅固前ノ攻要ニテ行ス不可ナリ。常ニ敵ノ不
 ニ出テ其ノ弱ヲ求メテ攻要スルニ、總テハ必要ナリ。

戰法ヲ研究スルノ要切ニナリ。
 右ニ見セテ左ヲツケ、式ノ研究ヲ望ム。

極秘

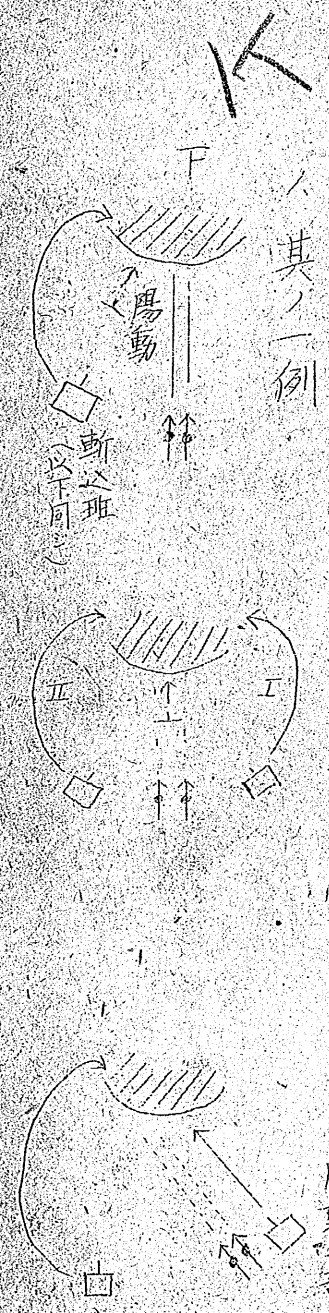


山精戰第土號

山部隊戰訓

一、敵ノ銃声ヲ異ニ求メヨ。其處ニ弱兵アリ。
 之カ為一部ヲ以テ「サグリ」ヲシテ敵ヲシテ、盛ニ射撃セシメ他ハ、悠々ト其ノ習異ヲ求
 メテ策動セヨ。

二、潛入ハ困難ナル地形カヲ
 潛入容易ナク、敵モ亦警戒シテアリ。
 正面カラノ斬込ハ成功ノ公算少シ。晝間充分地形ヲ研究シ、敵ノ配備ヲ研究シ、
 必勝ノ方策ヲ練ルベシ。潛入ノ方策モ千變万化ナリ。
 三、戰法ヲ毎日改良セヨ。



昭ニ〇四一四
 山部隊
 山三四七六字

百五續法同之方向より同一地兵ヲ攻真ニテハ成功ノ公算少シ
又其二例



真劍ニ工夫也曰
敵ノ裏ヲカク

斬之時刻ノ選定ニ井砲ノ協同要領共ニ毎回之ヲ変ヘヨ
時ニテ前半夜砲兵ヲ以テ擾亂射撃セテ後半夜斬込ノ方法モアルヘシ
或全ク砲兵ノ協カヲ待タズ絶對隱密主義ヲ以テスル方法モアルヘシ
又毎夜斬込ノ如ク欺騙陽動ノ數夜之ヲ續ケタル後真斬込ヲ行ハシ
法モアリ

5. 簡單ナル記号ヲ以テ之ヲ利用セヨ

例ハハ集中火ヲ受ケテ指揮困難ナルカ如キ場合ニ於テ記号ヲ定メ
オモテ諸兵ノ行動ヲ簡單ニ統一スルカ如シ

6. 潜伏并偵ヲ活用シテ夜間ニ於テ敵ノ動向ヲ偵知シ要スル之ヲ急襲
セヨ

敵カヨク使用スル道路ヲ認識シオノヲ陣前陣内共ニ

四 經驗ヲ生淨確信ノ方法ヲ練ル

五 敵ニシテ夜間一地ヲ撤去シ翌晝由由ト該地ニ進出スルコトアル場合之ニ乘
ジテ何等カノ施策ヲナシ敵ノ不意ヲ打ツ戰法ナキヤ